

# 失われたものの譬え ② 弟息子への愛

ルカの福音書15:11-24

## 概観

序)①失われたもの②探し出す愛③発見した時の喜び→一人を愛する神の愛

- 1、失われたもの
- 2、譬えの意味(1)、(2)、(3)
- 3、結論

適用)あなたの成長や自己実現が神様との愛の関係を土台としたものかどうかを吟味しましょう

## I 失われたもの

- 1、一匹の羊①子どもの様に可愛がる  
②99匹を野に置く  
③発見の喜び
- 2、一枚の銀貨  
①一枚の値打ち  
②愛・希望・未来③大きな喜び
- 3、放蕩息子①より深刻な罪②自立課題  
③より大きな喜び

## II 譬えの意味(1) 弟息子

- 1、退屈な生活と輝いて見える遠い国  
①退屈・平凡・繰り返し  
②未知の輝き・スリル・チャンス
- 2、自立を目指して関係を無視し、失う  
①財産②寛容な父③遠い国>関係性
- 3、放蕩の生活:欲と自我による自己実現  
①逃避②依存③人間喪失(輝きの喪失)  
⇒原罪の本質:神関係の断絶と自己実現

## II 譬えの意味(2) 弟息子

- 4、挫折・覚醒・本心  
①現実に直面:父の財産の保護・逃避  
②父の寛容と幻影の自己の自覚  
③人生の本質への気づき:関係>行為
- 5、立って、父のもとに帰る  
関係の回復:①底つき②謙り③自己の本質の自覚④悔い改め⑤立ち帰り⑥明け渡し⑦祝福

## II 譬えの意味(3) 父

- 1、愛と寛容
  - 2、痛み
  - 3、明け渡し
  - 4、祈りと見守り
  - 5、関係の回復と存在への喜び
- III 結論 神様との関係の断絶と成功依存から関係の回復と祝福へ←真の自己実現